

## 牛根小学校児童が完成検査 (株) 上津建設 出前授業



1 / 工事の説明を受ける牛根小児童 2 / 検査用の穴からコンクリートの厚さを確認 3 / (株) 上津建設と牛根小の皆さん

5月14日(火)、(株)上津建設が牛根小学校児童を対象に出前授業を行いました。今回取組は、子どもたちに工事の完成検査を行ってもらうもので、建設業の仕事と働くことの大切さを知ってもらおうと行ったものです。完成検査は、高城地区の急傾斜地崩壊対策工事で、大雨などで山が崩れないように工事をしたものです。子どもたちは、工事の説明を受け、検査票で、工事現場がきれいにされているかなどをチェックをし、現場の感想などを書いて検査をしました。子どもたちからは、「普段は見れない工事現場を見れて良かった」、「工事にいろいろな工夫があって面白かった」などの感想がありました。

伝統工芸品「垂水人形」が垂水市指定文化財に指定されました。県内の土人形は文禄、慶長の役に出兵した島津義弘が朝鮮の陶工たちを連れ帰り、帖佐周辺で制作したのが始まりといわれています。垂水人形は、江戸時代には作られはじめ、昭和30年頃に一度途絶えましたが、平成元年に中島三郎氏、中島信夫氏が復活させました。今では両氏もお亡くなりになりましたが、愛好家グループ「陶遊会」の皆さんにより現在でも伝統が引き継がれています。



垂水市指定文化財に  
垂水人形

## 大きく育ててね！ 柘原小学校ヒラメの放流体験



1 / 放流体験の様子 2 / 放流前にヒラメのお勉強 3 / ヒラメ稚魚：体長75mm、ふ化日1月12日、日齢119日

5月10日(金)、柘原小学校児童によるヒラメの放流体験が垂水南漁港(柘原)横の海岸で行われました。これは、市内の小学生を対象に垂水市漁業協同組合が水産資源の維持・拡大や地元子どもたちに水産資源の大切さや水産物への興味を持ってもらうことなどを目的に毎年行っている取組です。この日は、柘原小の全児童22人が参加し、(公財)かごしま豊かな海づくり協会が約75mmまで育てたヒラメの稚魚2,000匹を放流しました。参加した和田あかりさん(小1)は「魚がつるつるしていて可愛かったです。放流も楽しくできたので、大きく育ててほしいです」と放流体験の感想を話してくれました。

5月6日(月)、大阪府大阪市で新城関西親睦会が開催され、36人が参加しました。これは、関西在住で垂水市新城地区出身の方々が昨年からは開催しているものです。参加された方々は、数年ぶりに再会する方々も多く、感動の涙や笑顔の溢れる会となりました。また、参加者同士で踊りや新城小学校校歌の合唱なども行われ、参加者全員で盛り上がりました。



ふるさとを語り合う  
新城関西親睦会